

中医協概要報告（2022年6月1日開催）

6月1日に中医協が開催され、第210回診療報酬基本問題小委員会、第522回総会が行われた。次回日程は未定。

サマリー

診療報酬基本問題小委員会見募集において、この間総会等で議論された「看護の処遇改善」に関するデータの提起や当該データに基づく今後の議論方針が報告、承認された。

【第210回診療報酬基本問題小委員会】

<議題>

1：入院・外来医療等の調査・評価分科会からの報告について

議題1：入院・外来医療等の調査・評価分科会からの報告について—異論なく承認—

厚労省担当者より、2021年12月22日の大臣折衝事項である「看護の処遇改善」について、この間中医協総会、入院・外来医療等の調査・評価分科会、診療報酬基本問題小委員会での議論、当該議論に基づき提示されたデータ（入院料や初・再診料の算定回数、許可病床数・病床稼働率の分布、部門別・病棟別の看護職員数の分布や看護職員の所属割合、入院料の届出状況など）、そして当該データに基づく今後の議論の方向性等が報告された。

議論では、5月19日の入院・外来医療等の調査・評価分科会で指摘のあった議論の方向性に係る指摘事項について、委員がコメントを述べるに留まった。

診療側の松本吉郎委員（日本医師会常任理事）は、パラメーターの1つとなる算定回数について「入院という切り口を主体として整理する」（診-2、スライド2）とする指摘に着目。対象病院全体での部門別の看護職員の所属割合で見れば、病棟・手術室以外に配置されている看護師が約3割いる（診-2、スライド32）点を指摘した上で、「外来、その他に配置されている看護師も同様に貢献度は高く、配慮されるべき」と強調した。

同じ論点について、支払側の安藤伸樹委員（全国健康保険協会理事長）は患者負担の公平性の観点からコメント。そもそも看護の処遇改善を診療報酬上で対応する場合は、患者負担の増加が前提となる点を強調。「入院という切り口のみで整理をした場合、外来・その他に配置された看護職員の処遇改善に係る費用負担を、入院患者が追う形になる」と指摘し、患者負担の上昇に向けた納得感のある制度設計を要望した。

議論を通じて、出された意見を踏まえつつ、処遇改善に係る措置を点数化した場合のシミュレーションを実施した上で、再度詳細な議論を行う点が合意され、中医協総会に諮ることとされた。

【第522回総会】

<議題>

- 1：医薬品の新規薬価収載について
- 2：最適使用推進ガイドラインについて
- 3：DPC対象病院の合併に係る報告について
- 4：令和4年度改定を踏まえたDPC/PDPSの現況について
- 5：診療報酬基本問題小委員会からの報告について

議題1：医薬品の新規薬価収載について—異論なく承認—

厚労省担当者より、ボカブリア錠30mg、ボカブリア水懸筋注400mg・600mg、リカムビス水懸筋注600mg・900mgについて保険収載（令和4年6月8日予定）する旨が提起、了承された。また、当該薬剤は新医薬品であるが、対象疾患の特性と14日超の投薬における安全性の確保が実施されている点より、新医薬品における14日間の処方日数制限は適用されないこととされた。

議題2：最適使用推進ガイドラインについて—異論なく承認—

厚労省担当者より、アテゾリズマブ（遺伝子組換え）（販売名：テセントリク点滴静注）、ニボルマブ（遺伝子組換え）（販売名：オプジーボ点滴静注）の「効能・効果」、「用法及び用量」、「副作用」、「投与に当たり求められる施設要件」、「投与対象外の患者」、「投与に係る留意事項」などの事項に係る最適使用推進ガイドライン（以下、GL）の変更点が報告。

また、GLの変更に伴い、保険請求に当たり、アテゾリズマブ（テセントリク点滴静注）については、「どの施設要件に該当するか」、「どの治療責任者の要件に該当するか」、ニボルマブ（オプジーボ点滴静注）については、「他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合はその旨」をレセプトに記載する事とされた旨も報告され、承認された。

議題3：DPC対象病院の合併に係る報告について—異論なく承認—

厚労省担当者より、共にDPC対象病院である「医療法人錦秀会阪和記念病院」と「医療法人錦秀会阪和住吉総合病院」が「医療法人錦秀会阪和記念病院」に合併する旨が提起。承認された。

議題4：令和4年度改定を踏まえたDPC/PDPSの現況について

厚労省担当者より、DPC対象病院数は1,764病院（前年度比+9）、DPC準備病院数は259病院（同+12）となった点。DPC算定病床総数は、DPC対象病院は48万床（前年度比+0.2万床）、DPC準備病院は2.2万床（同+2.2万床）である点。2022年度診療報酬改定での制度上の変更点（医療機関別係数、算定ルールの見直しなど）が報告された。

議題5：診療報酬基本問題小委員会からの報告について

厚労省担当者より、第210回診療報酬基本問題小委員会での議論内容が報告、承認された。

その他

「骨太の方針2022」原案に関して報道のある「電子的医療情報活用加算」の見直しに係る議論は一切されなかった。

<会内使用以外の無断転載禁止>

配布された資料は、厚生労働省HPでも公開されています。

診療報酬基本問題小委員会（第210回）：

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000186974_00022.html

総会（第510回）： https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500_00148.html